

8月の新着本

2025年

8月 9日（土）貸し出し開始

【一般図書】

ブレイクショットの軌跡	逢坂 冬馬	人間の多様性と不可解さをテーマに、8つの物語の「軌跡」を奇跡のような構成力で描き切った、『同志少女よ、敵を撃て』を超える最高傑作。
乱歩と千畝 RAMPOとSEMPO	青柳 碧人	探偵作家と外交官。若き二人が友となり……斬新な発想で描く波瀾万丈の物語。 大学の先輩後輩、江戸川乱歩と杉原千畝。まだ何者でもない青年だったが、夢だけはあった。
定年物語 【読者希望】	新井 素子	ほぼ実話ということで、新井素子さんと旦那さんのラブラブ定年物語、小説というよりもエッセイといった感じの本。
音のない理髪店 【寄贈図書】	一色 さゆり	「私の祖父は“日本で最初の、ろう理容師”です」 作家デビュー後、前に進めなかった五森つばめが祖父の半生を描くことを決意する。
私はヤギになりたい 【寄贈図書】	内澤 旬子	万華鏡のように繁る植物をかき分け、今日もヤギとともに美味しい草を追う。 酷暑と虫との格闘、迫る体力の限界。 前代未聞のヤギ飼いイラストルポ！
踊りつかれて	塩田 武士	言葉が異次元の暴力になるこの時代。不倫を報じられ、SNSで苛烈な誹謗中傷にあったお笑い芸人・天童ショージは自ら死を選んだ。
僕には鳥の言葉がわかる 【寄贈図書】	鈴木 俊貴	動物学者を志したきっかけ、楽しくも激やせした森でのシジュウカラ観察の日々、鳥の言葉を科学的に解明するための実験方法などを、軽快に綴る。
クスノキの女神 【寄贈図書】	東野 圭吾	玲斗が二人を出会わせたところ瞬く間に意気投合し、思いがけないプランが立ち上がる。 不思議な力を持つクスノキと、その番人の元を訪れる人々が織りなす物語。
好きになってしまいました 【読者希望】	三浦 しをん	「キュン」のある毎日は幸せです——人気作家が描く日常、ときどき非日常。愛と笑いと妄想が溢れ出すエッセイ集。
老い方がわからない 【読者希望】	門賀 美央子	「人生100年時代」到来！シニア世代は、どうすれば若者に老害と言われず、若さにしがみつく醜態を晒すことなく年相応の分別と年齢以上の価値を持つ老人になっていけるのか。
逃亡者は北へ向かう	柚月 裕子	大震災直後に殺人を犯し、死刑を覚悟しながらもある人物を探すため姿を消した青年。自らの家族も被災した一人の刑事が、執念の捜査で容疑者に迫る。

特別配架（文庫・コミック等） ※ 一人一冊ではありません

対岸の家事	【読者希望】	朱野 帰子	絶滅危惧種となった専業主婦をする詩織を中心に、ワーキングマザーや育休中のパパ友など様々な家族の形を描いた作品。
最強脳	【寄贈図書】	アンデシュ・ハンセン	人類はかつてないほど飢餓や病気のリスクから遠ざかった。なのになぜ、「不安」からは逃れられない？世界的ベストセラー『スマホ脳』著者が明らかにする「脳の処方箋」。
スマホ廃人	【寄贈図書】	石川 結貴	圧倒的な便利さから「手放せない」人が多いのではないのでしょうか。しかし、その裏には、「手放せない」のにはたくさんの理由があることが、綿密な取材から明らかになりました。
スマホはどこまで脳を壊すか	【寄贈図書】	榊 浩平	スマホが脳や学力に及ぼす影響を、具体的なデータで示した一冊。特に「ながら勉強の無意味さ」や「使用時間と成績の関係」は衝撃的だった。
わたしだけのアイリス	【読者希望】	源 孝志	色覚異常に見舞われた気鋭のカメラマン海咲は、父の死の真相をつかみ、立ち直れるのか？ 作家・映画監督の著者がおくる感動の物語。

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、10月新着本は（10月11日）から貸出いたします。